



衡 企 商 第 173 号

平成 19 年 4 月 23 日

国土交通省道路局長殿

宮城県大衡村長 跡 部 昌 洋



中期的な計画の作成に係る今後の道路政策等への
意見書について

平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 114 号で依頼のありました標記の
ことについて、別添意見書のとおり回答いたしますので、よろしく
お取り計らい願います。

中期的計画の作成に係る今後の道路政策等についての意見書

宮城県大衡村

◎国・県・村道の新設改良及び交通安全施設整備の促進について

1. 現状

仙台都市圏域北部にある本村は、仙台北部中核テクノポリスを引継ぐ「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」に基づく「高度技術産学連携地域」に指定され、昼夜人口比率が県内 36 市町村で第 1 位の 132% (平成 17 年国勢調査) を示し製造品出荷額は 676 億円 (平成 17 年 12 月末) と県内で上位に位置しており、県内の広域的な雇用の場並びに東北一円の物流の拠点として、地域経済の活性化に重要な役割を担っております。

このように本村は、仙台北部地域から波及する経済活動の起点として、工業団地をはじめとする産業基盤の整備が着実に進展しており、今後一層の産業振興と工業団地に隣接する住宅団地の開発造成等「地域戦略プラン」の実現へ向けて、国県道各路線の早期整備は本村政発展には重要な事項であります。

2. 課題

県内の広範囲からの通勤者が増加傾向にあり、特に仙台市や大崎市方面より当地域に向かう朝夕の通勤時における交通量の激増は、国県道の渋滞の慢性化を招き、交通事故発生危険要因が大きく、その対応策としての各通過路線 (高速道路の連結利用含む) の改善及び交通安全施設整備が必要であります。

又、「高度技術産学連携地域」として仙台空港や仙台港と連結している湾岸道路と内陸地域を有機的 (高速交通体系) にアクセスする道路の早期実現が必要であります。

3. 道路特定財源に係る意見

道路特定財源の見直しに関する具体策 (平成 18 年 12 月 8 日閣議決定) では、真に必要な道路整備は、ニーズを踏まえ、その必要性を精査した上で重点化・効率化を見極めながら計画的に進めることは引き続き重要な課題としており、地方における生活者重視・活性化のための基幹道路と渋滞解消のためのバイパス整備・高速道路の有効利用への関連整備等々、地方の実情を的確に把握した対策を講じられたい。

又、毎年度予算において、道路歳出を上回る税収は一般財源とする法改正も予定されており、地方における道路の整備は、まだまだ不十分であるので、現行の制度を出来得る限り維持継続し、地域間格差是正を図るためにも、法改正は時期尚早と痛感せざるを得ないもので、更なる慎重審議を重ねられたい。

4. 具体的要望事項

(1) 高速道路整備事業の促進について

- ①東北縦貫自動車道仙台北部中核工業団地・第二仙台北部中核工業団地の中間部(大衡村松の平地内)への自動車道直結型 ETC 専用スマート IC の新設。

(2) 国道の整備促進について

- ①国道 4 号の大衡～大崎市三本木間の 4 車線拡幅改良事業。

②県管理移管の国道 457 号

- A. 大衡字大童地内「大童橋」の架替。^{おおわら}
- B. 大衡字沢目地内「上り線右折レーン」の設置。
- C. 大瓜字沓掛^{くつかけ}～大瓜字焼切地内の歩道設置。

(3) 県道の整備促進について

①主要地方道

- A. 石巻鹿島台大衡線の駒場字大原^{かみすいじ}～上推路及び坂下～新北沢間の歩道設置。
- B. 仙台三本木線の大森及び駒場地内間の歩道設置。
- C. 大衡落合線の早期全線開通。

②一般県道

- A. 大衡駒場線の早期全線開通。

③都市計画道路

- A. 北四番丁大衡線(県道大衡仙台線)の早期全線開通。

(4) 村道の整備及び維持管理等について

- ①国土交通省の補助事業で、道路改良事業や交安事業を実施した路線で、舗装面の劣化が著しい路線も増えてきており、これら路線(村道)の舗装補修のみの補助事業制度の新設。

- ②村道整備について、生活路線村道整備で幅員 4 m 程度歩道付の小規模道路整備事業も事業採択可能な制度の新設及び地域実情に合わせた歩道幅員対応の認可。